

使用済みEV電池を用いた蓄電池システムの共同研究の開始および  
バッテリー取り外し済みのEV車体を再活用可能なパートナーの募集

2023年9月13日  
関西電力株式会社  
東京センチュリー株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）と東京センチュリー株式会社（以下、東京センチュリー）は、使用済みEV電池（以下、「EVリユース電池」）を用いた蓄電池システムの構築に向けた共同研究（以下、「本研究」）およびEV車体を再活用できるパートナーの募集を開始しました。

本研究は、2023年1月に締結したEVリユース電池の活用に係る業務提携の一環として行うもので、蓄電池システムを構築し、2024年度から本格稼働を予定しています。関西電力が研究用地の提供および蓄電池システムの構築・運用を、東京センチュリーがEVリユース電池の調達等を担います。

両社は本研究を通じて得られる定置型蓄電池システムの開発、運用、保守等のノウハウをもとに、安価な蓄電池システムの販売を目指します。

また、EVリユース電池を取り外した車体を再利用または再活用していただけるパートナーを募集します。

東京センチュリーは「中期経営計画2027」において持続的成長に向けた基本方針の1つにグリーン・トランスフォーメーションを掲げております。本研究を通じて、EVを起点とした蓄電池事業の展開ならびに関連サービスの創出を推進いたします。

関西電力は電力事業での知見を活用し、蓄電池関連事業へ参入しており、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの更なる導入加速の支援を推進いたします。

両社は、より多くの事業者に蓄電池を導入できる環境の整備に注力し、持続可能な循環型社会、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

以上